

大阪市(中央区)  
おがたこうあん  
緒方洪庵旧宅及び適塾



も逃れ、その姿を今に伝えてくれている。

洪庵は、江戸時代の1810年、岡山県足守の城下町(現在の岡山市)で、備中足守藩家臣の子として生まれる。1826年、大阪で蘭学を学ぶことを事始に、江戸や長崎で学問を修める。後、大阪に居を構え、医者として開業。そして、1838年瓦町に蘭学を含め洋学を志す者のための塾を開いた。これが適塾である(現在の地へは1845年に移転)。この建物は、現存する日本唯一の蘭学塾の遺構である。

適塾のあった北浜は、西に近接して銅座(銅の精錬関係の役所)があり、オランダ人シーボルトが泊まったこともあり、また江戸へ行くオランダ商館員もここに宿泊し、新しい蘭書の取引も行われた。また、現北浜2丁目には俵物会所(長崎からの輸出品の取引所)があり、長崎との船の発着があるなど、ヨーロッパの文化や技術、合理的な思想の影響があった地でもある。

洪庵は医学者として、天然痘の種痘(予防接種)やコレラの治療な

地下鉄御堂筋線・京阪電車「淀屋橋」駅から東へ約200m歩くと、北浜3丁目のオフィス街のビルの間に緒方洪庵の居宅でもあった、かつての適塾の建物が見える。戦前の空襲から

ど多大な功績があるが、適塾で学問を広めるなど、教育者としても大きな足跡を残している。

適塾では多くの学生が学んだ。『学問のすゝめ』で「天は人の上に人を造らず 人の下に人を造らず(中略)生まれながらの貴賤上下の差別なく(後略)」と説いた福沢諭吉や、日本赤十字を開いた佐野常民など、日本の近代をつくっていった数多くの人物を世に送り出している。

洪庵の学問的思想を示すものに「扶氏医戒之略」がある。原著「Enchiridion Medicum」(医学必携)の巻末にある「医師の義務」と題する付録の一篇に感動し、これを抜き出し翻訳・要約したものである。そこには、「医の世に生活するには人の為のみ(中略)名利を顧みず、唯おのれを捨てて人を救はんことを希ふべし(後略)」「病者に対しては、唯病者を視るべし。貴賤貧富を顧みることなかれ(後略)」とある。自分の名誉や利益を第一とするのではなく、人(患者)を対等に視て扱い、その最善の利益のために治療することを大切にしようとする姿勢がうかがえる。この思想のもと、適塾での教育が行われ、塾生に、そして社会に大きな影響を与えたことだろう。



仲間

阪南市 小学六年生(当時) 西原亜美

歩けなくても  
聞こえなくても  
見えなくても  
不自由じゃない

自分で出来ないことがあっても  
人のやさしさで出来ることが  
たくさんになる

歩けなくても  
聞こえなくても  
見えなくても

人を元気づけることができる

人は一人では生きていけない

だから助け合って生きよう

ジンケン

大阪市 中学二年生(当時) 大山美佳

ジンケンとは、  
人が人らしく生きることが出来る  
最低限の権利である

私は思う、  
ジンケンとは

たくさん人の気持ちがいっぱい  
いっぱいあった心の宝物

だけど  
ジンケンを無視して

人の心に  
苦しい涙を流させる  
人の気持ちのわからない人がいる  
きずつくときの心の傷は深い  
それより人をきずつける心は

人には  
できること、できないこと  
得意なこと、苦手なこと  
好きなこと、嫌いなこと  
それぞれある  
だから、世界はおもしろい  
周りの人々が違いを認めあい、  
分かりあうことで幸せになれる

2008年度(平成20年度)人権啓発詩読書感想文募集事業  
(大阪府大阪府教育委員会愛ネット大阪の入選作品より)

2010年(平成22年)3月発行

この情報誌は7,000部作成し、1部あたりの単価は97円です。

発行/大阪府府民文化人権室

編集/財団法人大阪府人権協会

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目  
TEL.06-6944-6189 FAX.06-6944-6616  
http://www.pref.osaka.jp/jinken/

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12  
TEL.06-6568-2983 FAX.06-6568-2985  
http://www.jinken-osaka.jp